



著者プロフィール: 日本を代表するフラメンコギタリスト。幼少の頃よりヴァイオリンを始め、その後ギターを独習。A-JARIやチリクマルカ等のグループ活動を経て、明治大学在学中にフラメンコギターを始める。98年長期渡西。マドリードのタブラオ・カサ・パタス、やセビージャのラジオ番組などに出演。帰国後はカニサレスとの共演やNHK「音楽のある街で」出演。主な参加CD・DVD: 風回廊(渡辺えり)、天国を見た男(沢田研二)、Boy(coba)他。Estudio ROMERO主宰。

VOL.3
SOLEÁ ②

～はじめに～

今回はソレアのエスティロやコンパスを取り上げました。今回はソレアのエスコビージャ部分のリズムパターンやパルマのたたき方を整理していきます。リズム譜が多くなってしまいましたが、今まで当たり前に行っていたことが間違えだったり知らないことなどあるかもしれません。最後まで目を通してくださいね。

ソレアのエスコビージャ

踊り手が足の技術を見せる部分、足の速いステップで踊る部分をエスコビージャと言います。その語源は、ほうき (escoba) が床の上を歩きまわる様子だといわれています。

ソレアにおけるエスコビージャの特徴を整理しながら、パルマのたたき方を確認していきましょう。

遅いテンポ時のエスコビージャ

譜例 1

1 2 ③ 4 5 ⑥ 7 8 ⑨ 10 11 ⑫
タカタカ タカタカ タンタン タカタカ タカタカ タンタン タカタカ タカタカタンタン タカタカ タカタカ タンタン

踊り

パルマ

足

踊りを伴うソレアは、近年遅いテンポ(♩ = 70くらい)で歌われることが多くなってきました。ソレアの歌振りと同じ速さでのエスコビージャは、上記のように4連系のリズムになる場合が多いです。この場合すべての拍の表裏にパルマをたたきます。つまり1拍の中にパルマを2回たたくので、倍取り(ダブル)でリズムを取ることになります。1拍ずつだけのパルマだと、宴会の席の手拍子のようになってしまいますので気をつけてくださいね!

3、6、9、12拍目の裏をたたかない場合や、逆にアクセントをつけてたたく場合があります。これらの裏拍を意識しないと、ただの1拍子に聞こえてしまいます(エスコビージャの導入部分など、ギターの弾き方によってはパルマを何もたたかない方が効果的な場合もあります)。

足は全部の拍のあたりにしっかり踏んでください。

ワンポイント→踊り・歌

ドブレ(double)とは英語のダブルのことなので、倍とか二重という意味になります。リズムを倍取りしてパルマをたたく場合の他、ジャマーダやレマーテが2回続く時にドブレジャマーダやドブレレマーテと言ったり、同じ足でゴルペ(golpe)を2回打つことなどもドブレと言います。この他、単に2連符のパソが3連符に増えただけでドブレといったりすることもあるので、本来二倍の意味ですが使われ方はさまざまです。また、フラメンコの歌詞はその中に隠された二重の意味を持つ場合も多く、ドブレセンチード(doble sentido)といわれています。

速いテンポ時のエスコビージャ 1

譜例2

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|----|-----|-----|----|-----|-----|----|-----|-----|----|
| | 1 | 2 | ③ | 4 | 5 | ⑥ | 7 | 8 | ⑨ | 10 | 11 | ⑫ |
| | タカタ | タカタ | タン | タカタ | タカタ | タン | タカタ | タカタ | タン | タカタ | タカタ | タン |
| 踊り | | | | | | | | | | | | |
| パルマ | | | | | | | | | | | | |
| 足 | | | | | | | | | | | | |

速いテンポ(♩ = 130以上)でのエスコビージャは、上記のような3連符や2連符で踊られる場合が一般的です。この場合パルマは拍の表だけをたたきます。前述の倍取り(ドブレ)に対して1拍ずつだけパルマをたたくリズムのことを、センシージョ(sencillo)やシンプレ(simple)などという場合もありますが、それほど一般的ないい方ではありません。なぜなら、スペイン人たちはこれらのリズムをあまり意識せずに自然に感じているからです。日本では倍取りのリズムに対して半分取りといったり、シングル取り、ブレリア取りなどといったりして区別しています。

パルマをたたく場合、間違っただけで1拍目や4拍目に足を踏んでしまう人が目立ちます。アクセントの無い1拍目や4拍目には足を踏まないように注意してください。

速いテンポ時のエスコビージャ 2

譜例3

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|---|
| | 1 | 2 | ③ | 4 | 5 | ⑥ | 7 | ⑧ | 9 | ⑩ | 11 | ⑫ |
| 踊り | | | | | | | | | | | | |
| パルマ | | | | | | | | | | | | |
| 足 | | | | | | | | | | | | |

踊りのパソは2コンパス単位で出来ているパターンが多いので、パルマをたたき詰めると邪魔になる場合があります。2コンパス目の11、12拍目はデリケートな拍なので、むやみにパルマをたたかないように注意してください。この時、9拍目のかわりに8拍目と10拍目に足を踏みます。コンパスがまだ続いている場合は12拍目に足を踏むとリズムがくるいにくくなります。また、レマーテなどエスコビージャの締めのパソでもこのたたき方をします。

速いテンポ時のエスコビージャ 3

譜例4

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|---|
| | 1 | 2 | ③ | 4 | 5 | ⑥ | 7 | 8 | ⑨ | 10 | 11 | ⑫ |
| 踊り | | | | | | | | | | | | |
| パルマ | | | | | | | | | | | | |
| 足 | | | | | | | | | | | | |

踊りと掛け合いをするようにパルマをたたくと効果的な場合があります。パルマはリズムを刻む役割ですが、決してメトロノームのようなたたき方をしてはいけません。踊り手の出すリズムを拾うと同時にギターにも注意を払って、更に複数のパルマが一つになるように足並みを揃えてたたいてください。そしてパルマに慣れてきたら、いかに音数を少なく出来るか研究してみてくださいね!


リズムを変える時(カンビオ)


エスコビージャの後にブレリアの歌を呼ぶ場合、踊り手は何らかの方法でブレリアの速さまでテンポを上げていく必要があります。倍取りのリズムのままではどんなに速くしてもブレリアにはならないので、1拍ずつのリズムへ変えることが必要になってきます。


一般的なカンビオ

譜例5

1 2 ③ 4 5 ⑥ 7 ⑧ 9 ⑩ 11 ⑫

踊り 

パルマ 

足 

一度リズムを止めてから仕切り直して速いテンポのエスコビージャをする以外は、上記のようなカンビオ(cambio、英語のchangeの意味)が必要になってきます。踊りのリズムより細かくパルマをたたくことはないので、上記の譜例5のように4拍目と5拍目に踊りが1拍ずつしか足を踏まない場合は、パルマもおのずと1拍ずつのたたき方になります。つまり3拍目(4拍目)までが倍取りのリズムで、5拍目(4拍目)からが1拍ずつのリズムの取り方になります。

ワンポイント→パルマ・ギター

エスコビージャを急激に盛り上げたり、複雑なカンビオをせずにブレリアのセンチードまでリズムを持って行くいろいろなやり方が近年増えてきています。

まず、前述した遅いテンポ時のエスコビージャ(譜例1)と速いテンポ時のエスコビージャ2の6拍目以降(譜例3)のリズムの取り方が同じだということを確認してください。

〈遅いテンポ時のエスコビージャ〉 倍取りのリズム時のパルマのたたき方。

1 2 ③ 4 5 ⑥ 7 8 ⑨ 10 11 ⑫

パルマ 

足 

〈速いテンポ時のエスコビージャ2〉 ブレリア取りのリズム時のパルマのたたき方。

⑥ 7 ⑧ 9 ⑩ 11 ⑥ 7 ⑧ 9 ⑩ 11 ⑥ 7 ⑧ 9 ⑩ 11 ⑥ 7 ⑧ 9 ⑩ 11

パルマ 

足 

上記の上下二つの譜例から、倍取りの1拍目とブレリア取りの6拍目が同じ性質だということがわかります。同様に倍取りの4拍目とブレリア取りの6拍目、倍取りの7拍目とブレリア取りの6拍目、倍取りの10拍目とブレリア取りの6拍目が同じだということもわかります。つまり倍取りの時もブレリア取りの時も同じリズムの取り方なので、ギターがどちらの弾き方をしているのかわかる必要があります。

最近のフラメンコしか知らないギターの人はずぐにブレリア取りの弾き方をする傾向があります。アクセントなどで完全にブレリアに移ったことを確認してから弾き方を変えるようにしてください!

特殊なカンビオ










譜例6 1 2 ③ ⑥ 7 ⑧ 9 ⑩ 11 ⑫ 1 2 ③ 4 5
 パルマ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ (♪) ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ (♪)(♪) ♪ ♪ ♪ ♪ ♪
 足        










倍取りの4拍目とブレリア取りの6拍目が同じ性質だということをワンポイントの欄でふれました。倍取りの4拍目をブレリア取りの6拍目と思ってカウントしてみてください。足を踏むタイミングをかえることなくブレリア取りのリズムに移行できます。同様に倍取りの7拍目や10拍目をブレリア取りの6拍目にすることもできます。

譜例7 1 2 ③ 4 5 ⑥ 7 8 ⑨
 パルマ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ (♪) ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ (♪) ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ (♪)
 足         

⑥ 7 ⑧ 9 ⑩ 11 ⑫ 1 2 ③ 4 5 ⑥ 7 ⑧ 9 ⑩ 11
 パルマ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ (♪)(♪) ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ (♪) ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ (♪)
 足         

倍取りの10拍目をブレリア取りの6拍目にした例です。ブレリア取りのリズムでは12拍目や6拍目をたたかない方がいい場合が多いです。

譜例8 1 2 ③ 4 5 ⑥ 7 8 ⑨
 パルマ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ (♪) ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ (♪) ♪ ♪ ♪ ♪ ♪
 足         

⑩ 11 ⑫ ⑫ 1 2 ③ 4 5 ⑥ 7 ⑧ 9 ⑩ 11
 パルマ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ (♪)(♪) ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ (♪) ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ (♪)
 足         

譜例7と全く同じリズムでカウントだけをかえた例です。倍取りの2コンパス目の1拍目からブレリア取りの12拍目を重ねています。このカウントをすると、12拍目を2回踏んでブレリア取りのリズムに持って行くという考え方もできます。

ソレアを踊る(伴奏する)うえでの約束事を二回に渡って確認してきましたが、これでソレアをすべて網羅したわけではありません。一番重要とっていいソレアの詩については、あえて触れずにきました。次回からはアレグリアスを取り上げる予定ですが、切り口をかえてアレグリアスの詩の形式から確認していきたいと思っております。

音源は片桐勝彦HPで聴けます！ URL <http://www.toshima.ne.jp/~kata/katsu>
 同内容のバルマクラス、スタジオロメロで開催中。6月10、24日、20:40～終電ぐらいまで